

メキシコ金融政策(2018年11月)

～メキシコ銀行は市場予想通り0.25%ポイントの利上げを実施～

2018年11月19日

お伝えしたいポイント

- ・メキシコ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施。今後のインフレ次第では追加利上げの可能性も
- ・当面はオブラドール次期大統領の政策動向が注目材料

<メキシコ銀行は0.25%ポイントの利上げを実施。今後のインフレ次第では追加利上げの可能性も>

メキシコ銀行(中央銀行)は、11月15日(現地)、政策金利を市場予想通り0.25%ポイント引き上げ、8.00%とすることを決定しました。

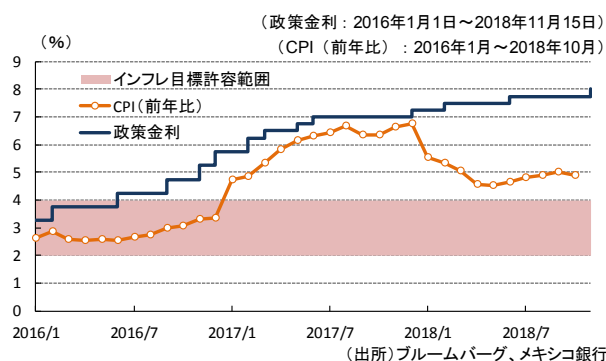
メキシコ銀行は利上げの主な理由として、インフレ率が目標を上回って推移する中、メキシコ・ペソ安が進んだことによりインフレリスクが高まったことを挙げています。

メキシコ・ペソ安の背景としては、来月就任予定のオブラドール次期大統領が発表した新空港建設中止の影響を挙げています。新空港建設の是非について、オブラドール氏は国民投票の結果に基づき決定すると選挙公約で掲げており、この国民投票において反対票が約7割となったことで、建設中止が決定されました。これを受けて、金融市場では同氏が今後も大衆迎合的な政策を進めるとの懸念が高まり、メキシコ・ペソは下落しました。

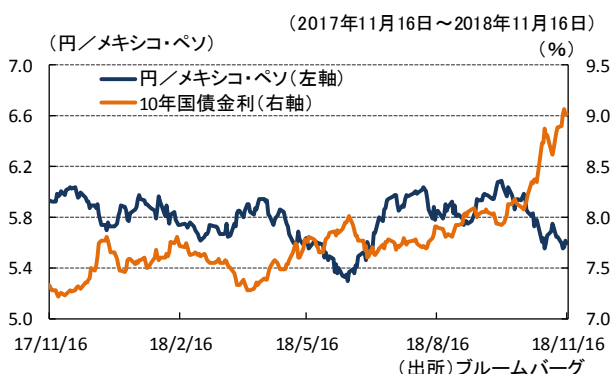
メキシコ銀行は、同氏が今後打ち出す政策次第では、メキシコ・ペソ安がさらに進み、その結果インフレリスクが高まる可能性があるという警戒的な見方を示しています。

このため、今後の金融政策については、インフレや通貨の動向次第ではあるものの、必要であるならば追加利上げを行うとしています。

《政策金利と消費者物価指数(CPI)の推移》



《為替と国債金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

<当面はオブラドール次期大統領の政策動向が注目材料>

当面のメキシコ・ペソはオブラドール次期大統領の政策動向に左右されやすい展開になりそうです。オブラドール氏は新空港の建設以外にも、製油施設や鉄道などに関するプロジェクトについて、国民投票を行う方針を発表しています。こうした大衆迎合的な政策が続けば、これまでペニャニエト現大統領が推し進めてきた構造改革に逆行するとともに、財政赤字の拡大や格付け会社による格下げを招く可能性があることから、その動向を注意深く観察する必要がありますと考えています。

一方で、インフレに対処するために適時利上げを行うメキシコ銀行の金融政策姿勢は金融市場からの信認が厚く、長期的にはメキシコ経済にとってもプラスであると考えられます。そのため、メキシコ銀行の金融政策姿勢がメキシコ・ペソの一定の下支え要因になるとみています。

また、これまでメキシコの懸念材料であった NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉に関しては、9 月末に米国・メキシコ・カナダの 3 カ国合意が得られたことから、今後メキシコへの投資が活性化する可能性があり、メキシコ経済を押し上げる要因になりそうです。

以上

<ご参考> 当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

- ・メキシコ選挙(2018 年 7 月)～野党・MORENA のオブラドール氏が最多票を獲得し、新大統領に～(2018/7/3)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180703_3.html
- ・メキシコ金融政策(2018 年 2 月)～メキシコ銀行は 0.25%ポイントの追加利上げを実施。次回さらに利上げの可能性も～(2018/2/9)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180209_3.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 12 月)～メキシコ銀行は 0.25%ポイントの利上げを実施。引き続き NAFTA 再交渉の進展に注目～(2017/12/15)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_1.html
- ・メキシコの地震の状況と金融市場への影響について(2017/9/20)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170920_1.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 8 月)～政策金利は据え置き、NAFTA 再交渉に引き続き注目～(2017/8/15)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170815_1.html
- ・メキシコ金融政策(2017 年 6 月)～利上げは今回で打ち止めを視野に。今後は NAFTA 再交渉の行方に注目。～(2017/6/23)
http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170626_1.html

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の 9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>